

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
402257_うきは市	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外でゲームなどの時間が多く、進んで学習を行う習慣がない児童がまだ多い傾向にあり、授業以外で進んで学習する児童を増やしていくことが課題である。	寺子屋で、プリント学習以外のゲーム的な問題を増やしていくことで、学習への興味・関心を高め、寺子屋への参加人数を増やしていく。	学校以外で、自分から進んで学習していると感じる、自覚できる児童を増やす。	寺子屋アンケートで「自分から進んで学習するようになった」と感じる児童の割合(%)	40	%	50	60	3 アンケートの結果、「自分から進んで学習できるようになった」と回答した児童が60%いた(そう思う、ややそう思う)ことから、本年度の目標は達成することができたと考える。ただ、「そう思う」と回答した児童が、28%程度なので、今後も、寺子屋の学習に興味・関心を持たせ、学習の楽しさを味合わせるような活動をさらに工夫していく必要がある。
402257_うきは市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	寺子屋事業で学習以外の体験活動を実施しているが、同じような体験活動になっており、ほかの体験活動に取り組むことが課題である。	現在、実施している体験活動に加え、子どもたちの興味を引くような新たな体験・参加型の学習活動を取り入れていく。	寺子屋での体験活動の数を増やす。	寺子屋で体験活動を実施した回数	5	回	7	8	3 体験的な活動の実施目標として7回を計画していたが、、カードゲーム(3回)と合わせて8回実施することができた。特に、古墳探検は、本年度初めての取り組みで、児童も興味深く参加し、体験の幅を広げることができた。今後も、できる限り新しい体験活動の位置づけを考えていく必要がある。